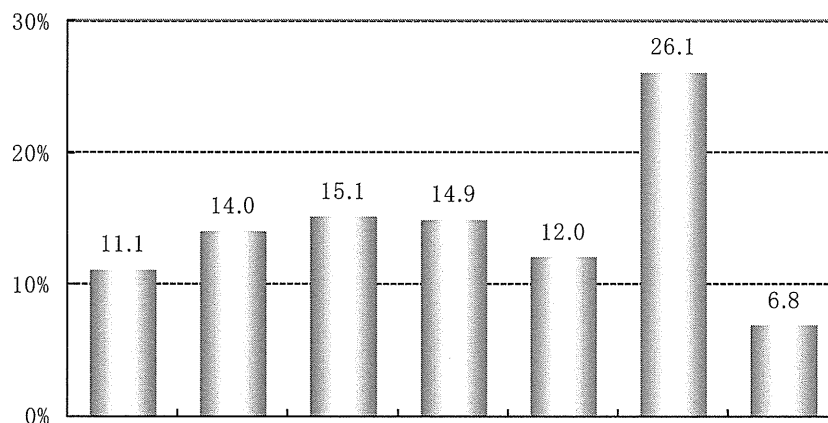


問：妊娠期ローリスク群の妊婦健診を助産師が担当する可能性に対する回答分布

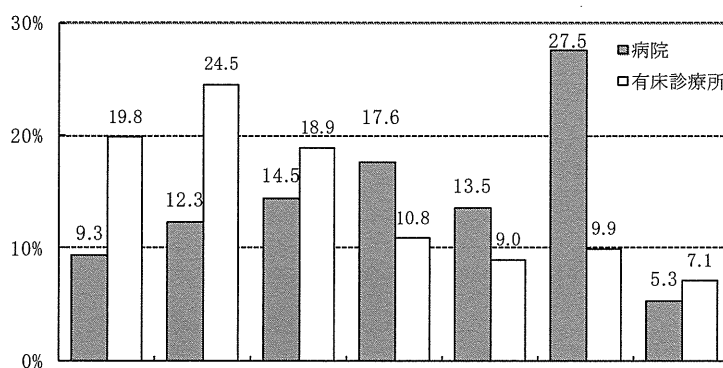
(病院、有床診療所、バースセンター、助産院、その他)



	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
全 体	958	106	134	145	143	115	250	65
	100.0	11.1	14.0	15.1	14.9	12.0	26.1	6.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(病院、有床診療所別)

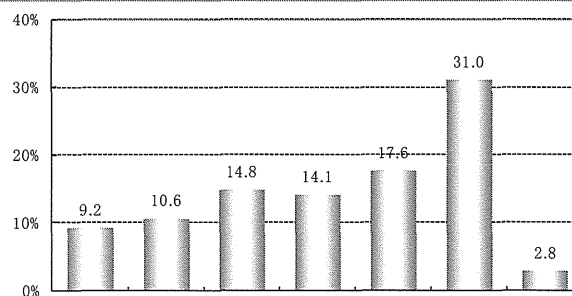


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
病院	643	60	79	93	113	87	177	34
	100.0	9.3	12.3	14.5	17.6	13.5	27.5	5.3
有床診療所	212	42	52	40	23	19	21	15
	100.0	19.8	24.5	18.9	10.8	9.0	9.9	7.1

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：妊娠期ローリスク群の妊婦健診を助産師が担当する可能性に対する回答分布

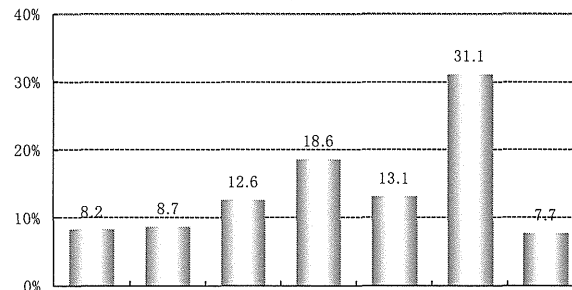
(国・公立、行政法人病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
国・公立、行政法人総合病院	142	13	15	21	20	25	44	4
	100.0	9.2	10.6	14.8	14.1	17.6	31.0	2.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

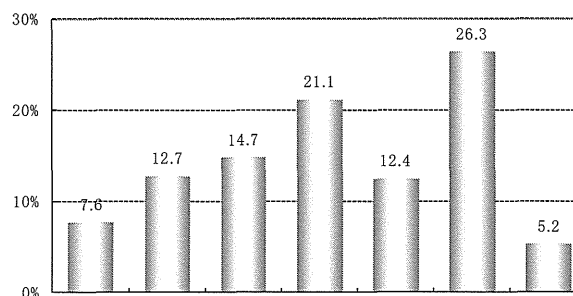
(大学付属病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
大学付属病院	183	15	16	23	34	24	57	14
	100.0	8.2	8.7	12.6	18.6	13.1	31.1	7.7

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(民間総合病院)

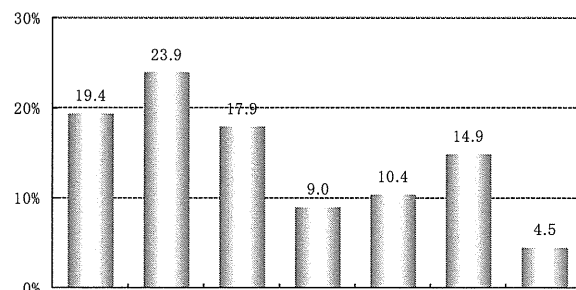


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
民間総合病院	251	19	32	37	53	31	66	13
	100.0	7.6	12.7	14.7	21.1	12.4	26.3	5.2

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：妊娠期ローリスク群の妊婦健診を助産師が担当する可能性に対する回答分布

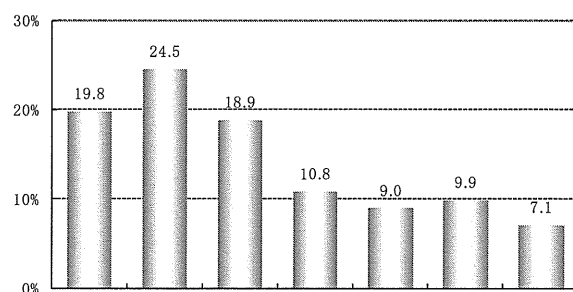
(民間単科病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
民間単科病院	67	13	16	12	6	7	10	3
	100.0	19.4	23.9	17.9	9.0	10.4	14.9	4.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(有床診療所)

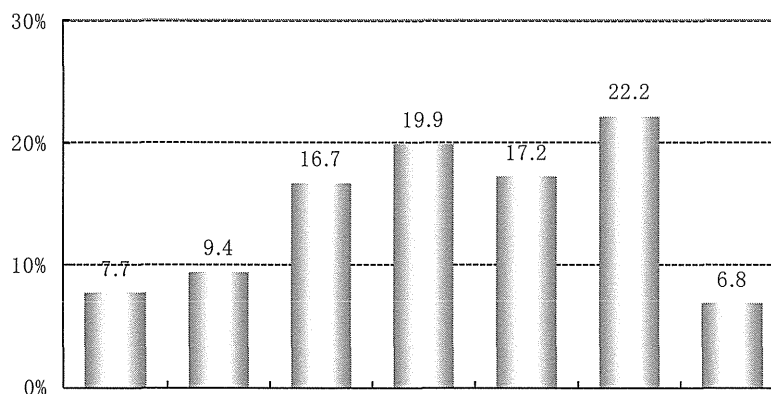


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
有床診療所	212	42	52	40	23	19	21	15
	100.0	19.8	24.5	18.9	10.8	9.0	9.9	7.1

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：分娩期ローリスク群の分娩を助産師が自立して担当する可能性に対する回答分布

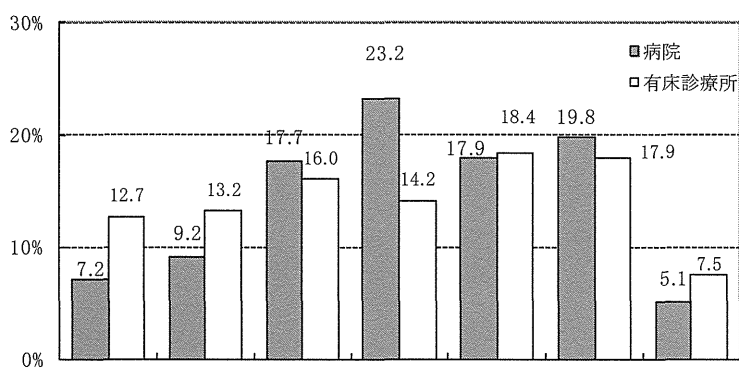
(病院、有床診療所、バースセンター、助産院、その他)



	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
全 体	958	74	90	160	191	165	213	65
	100.0	7.7	9.4	16.7	19.9	17.2	22.2	6.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(病院、有床診療所別)

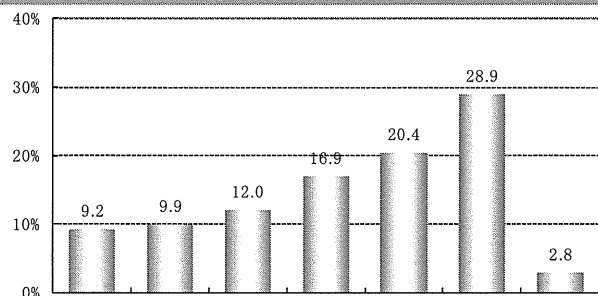


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
病院	643	46	59	114	149	115	127	33
	100.0	7.2	9.2	17.7	23.2	17.9	19.8	5.1
有床診療所	212	27	28	34	30	39	38	16
	100.0	12.7	13.2	16.0	14.2	18.4	17.9	7.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：分娩期ローリスク群の分娩を助産師が自立して担当する可能性に対する回答分布

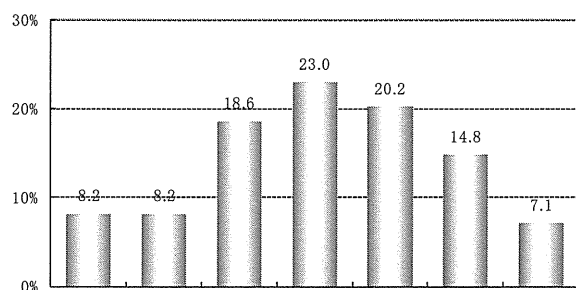
(国・公立、行政法人病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
国・公立、行政法人総合病院	142	13	14	17	24	29	41	4
	100.0	9.2	9.9	12.0	16.9	20.4	28.9	2.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

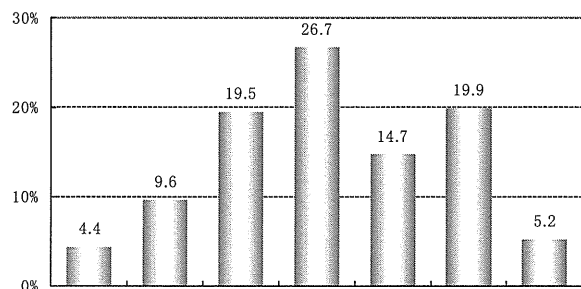
(大学付属病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
大学付属病院	183	15	15	34	42	37	27	13
	100.0	8.2	8.2	18.6	23.0	20.2	14.8	7.1

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(民間総合病院)

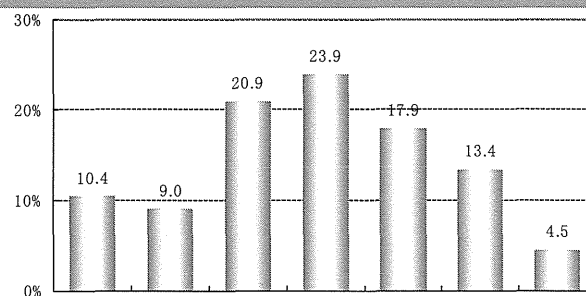


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
民間総合病院	251	11	24	49	67	37	50	13
	100.0	4.4	9.6	19.5	26.7	14.7	19.9	5.2

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：分娩期ローリスク群の分娩を助産師が自立して担当する可能性に対する回答分布

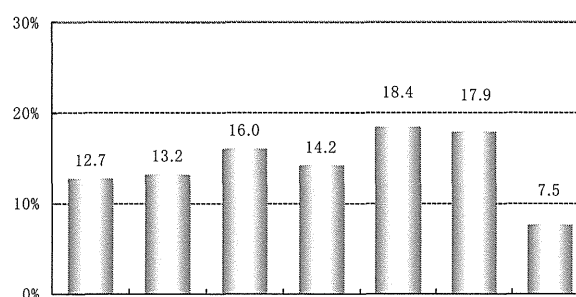
(民間単科病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既の実施している	無回答
民間単科病院	67	7	6	14	16	12	9	3
	100.0	10.4	9.0	20.9	23.9	17.9	13.4	4.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(有床診療所)

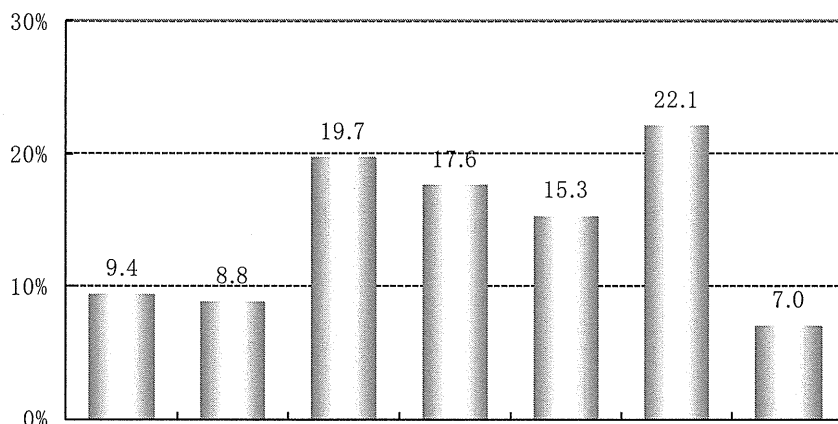


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既の実施している	無回答
有床診療所	212	27	28	34	30	39	38	16
	100.0	12.7	13.2	16.0	14.2	18.4	17.9	7.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：医師が、ローリスク群を助産師に任せ、逸脱した場合バックアップする可能性に対する回答分布

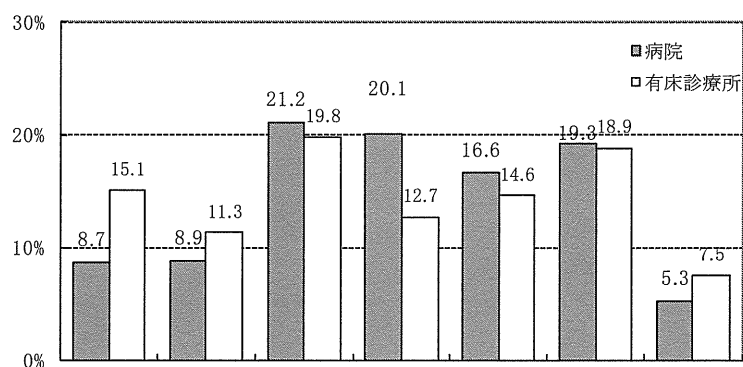
(病院、有床診療所、バースセンター、助産院、その他)



	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
全 体	958	90	84	189	169	147	212	67
	100.0	9.4	8.8	19.7	17.6	15.3	22.1	7.0

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(病院、有床診療所別)

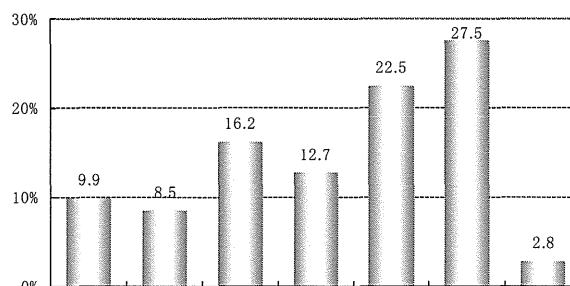


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
病院	643	56	57	136	129	107	124	34
	100.0	8.7	8.9	21.2	20.1	16.6	19.3	5.3
有床診療所	212	32	24	42	27	31	40	16
	100.0	15.1	11.3	19.8	12.7	14.6	18.9	7.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：医師が、ローリスク群を助産師に任せ、逸脱した場合バックアップする可能性に対する回答分布

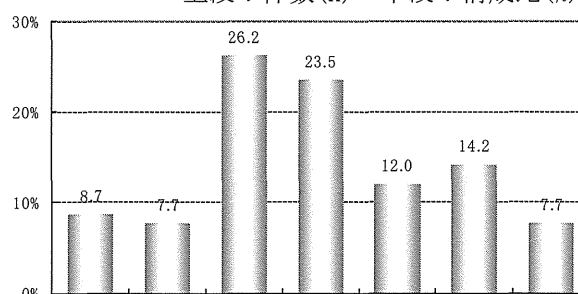
(国・公立、行政法人病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既の実施している	無回答
国・公立、行政法人総合病院	142	14	12	23	18	32	39	4
	100.0	9.9	8.5	16.2	12.7	22.5	27.5	2.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

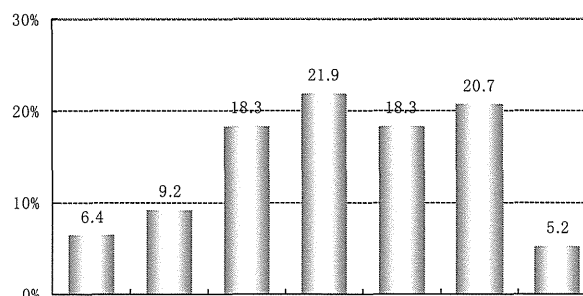
(大学付属病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既の実施している	無回答
大学付属病院	183	16	14	48	43	22	26	14
	100.0	8.7	7.7	26.2	23.5	12.0	14.2	7.7

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(民間総合病院)

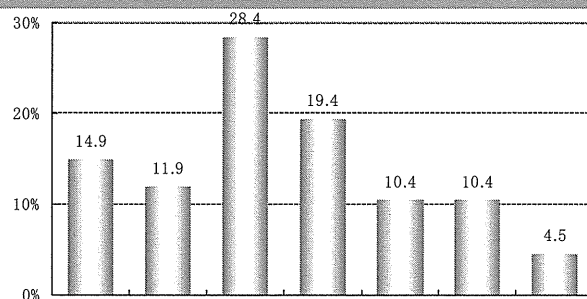


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既の実施している	無回答
民間総合病院	251	16	23	46	55	46	52	13
	100.0	6.4	9.2	18.3	21.9	18.3	20.7	5.2

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：医師が、ローリスク群を助産師に委ね、逸脱した場合バックアップする可能性に対する回答分布

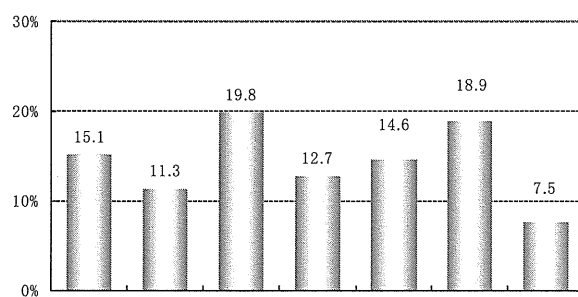
(民間単科病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
民間単科病院	67	10	8	19	13	7	7	3
	100.0	14.9	11.9	28.4	19.4	10.4	10.4	4.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(有床診療所)

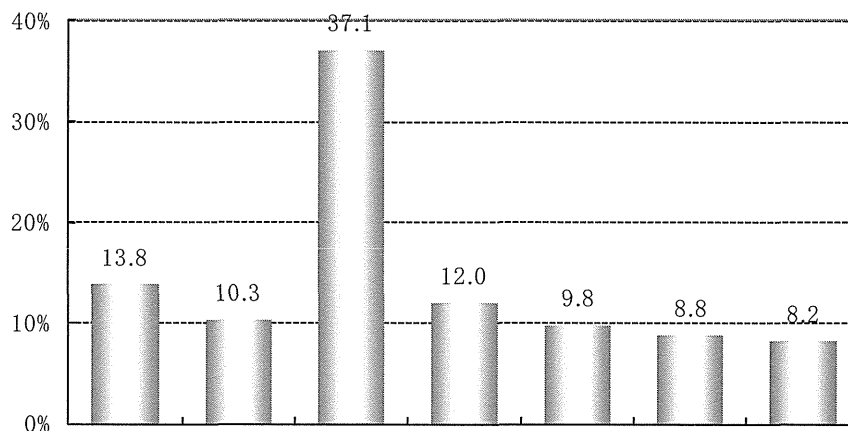


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
有床診療所	212	32	24	42	27	31	40	16
	100.0	15.1	11.3	19.8	12.7	14.6	18.9	7.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：経理部門が、ローリスク群を助産師担当とする院内システムを支持する可能性に対する回答分布

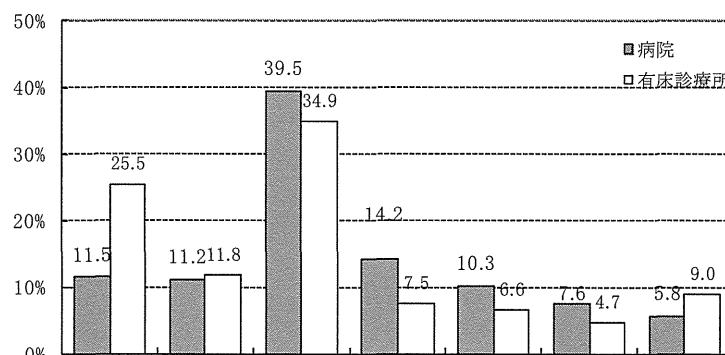
(病院、有床診療所、パースセンター、助産院、その他)



	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
全 体	958	132	99	355	115	94	84	79
	100.0	13.8	10.3	37.1	12.0	9.8	8.8	8.2

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

(病院、有床診療所別)

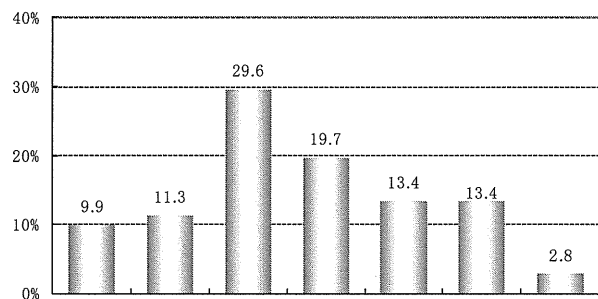


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
病院	643	74	72	254	91	66	49	37
	100.0	11.5	11.2	39.5	14.2	10.3	7.6	5.8
有床診療所	212	54	25	74	16	14	10	19
	100.0	25.5	11.8	34.9	7.5	6.6	4.7	9.0

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：経理部門が、ローリスク群を助産師担当とする院内システムを支持する可能性に対する回答分布

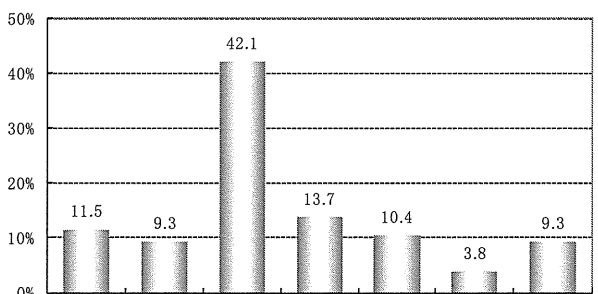
(国・公立、行政法人病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
国・公立、行政法人総合病院	142	14	16	42	28	19	19	4
	100.0	9.9	11.3	29.6	19.7	13.4	13.4	2.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

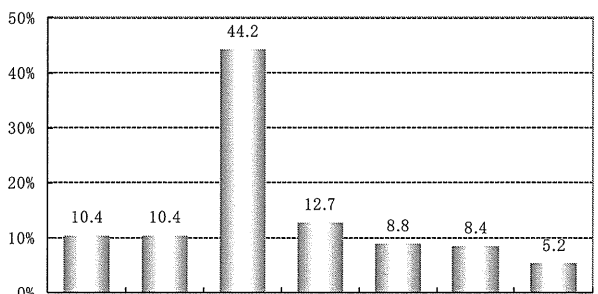
(大学付属病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
大学付属病院	183	21	17	77	25	19	7	17
	100.0	11.5	9.3	42.1	13.7	10.4	3.8	9.3

上段：件数(N) 下段：構成比(%)

(民間総合病院)

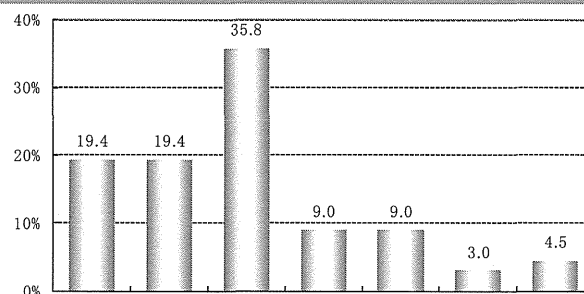


分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性がある	十分可能性がある	既に実施している	無回答
民間総合病院	251	26	26	111	32	22	21	13
	100.0	10.4	10.4	44.2	12.7	8.8	8.4	5.2

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

問：経理部門が、ローリスク群を助産師担当とする院内システムを支持する可能性に対する回答分布

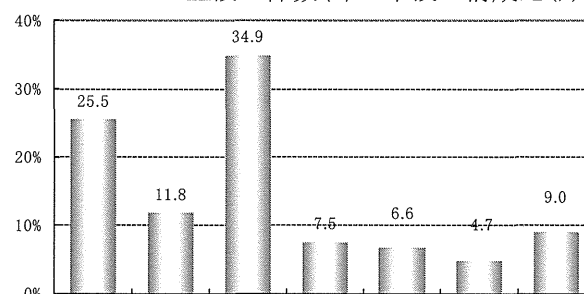
(民間単科病院)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
民間単科病院	67	13	13	24	6	6	2	3
	100.0	19.4	19.4	35.8	9.0	9.0	3.0	4.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

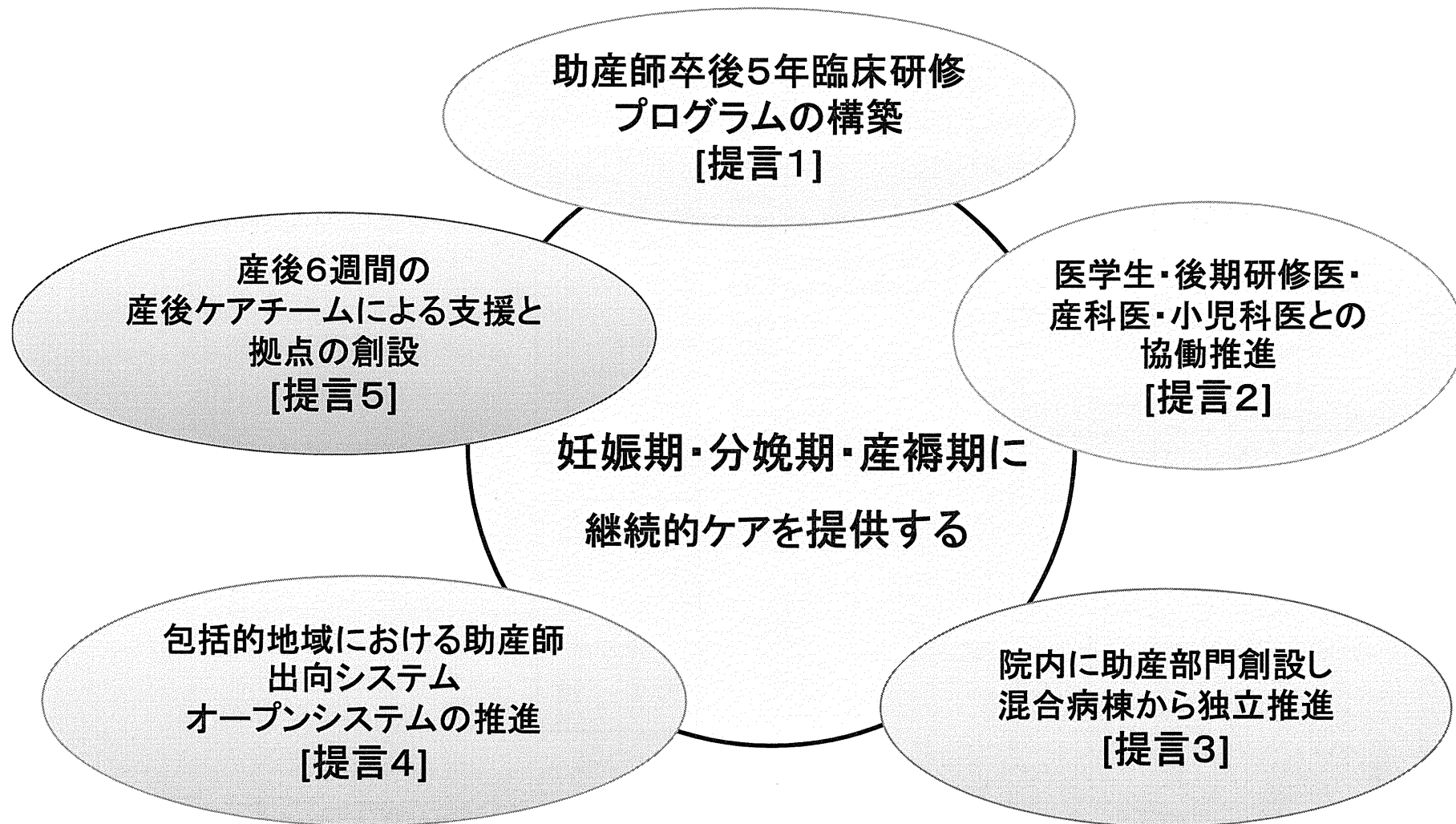
(有床診療所)



分娩取り扱い施設	件数	可能性が全くない	可能性が殆どない	どうともわからない	やや可能性はある	十分可能性はある	既に実施している	無回答
有床診療所	212	54	25	74	16	14	10	19
	100.0	25.5	11.8	34.9	7.5	6.6	4.7	9.0

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

助産師の正常分娩担当システム構築の基本概念



提言1:助産師の卒後5年臨床研修プログラムの構築

1年目

段階的到達目標を共有する。約半年～1年単位で、分娩期と産褥期と早期新生時期を平等にローテーションし、助産基礎教育の学びを土台とする助産実践を積み上げる。【新生児蘇生認定講習受講・血管内留置針による血管確保技術習得・胎児モニタリングCTG判読の修得、以上を管理者の努力義務とする】

2年目

引き続き、約半年～1年単位で分娩期と産褥期と早期新生時期の助産実践を積み上げる。【2年目終わりに、※少なくとも正常分娩約100例の分娩介助を実践させる・産褥早期の乳房ケア、母乳育児支援研修、以上を管理者の努力義務とする】 ※分娩介助のために院内外を問わず研修の場を保証

3年目

入院妊婦ケア、ハイリスク分娩期ケアを含む助産実践を、熟練助産師の指導を受けて実践する。妊婦外来で医師の補助者として週2回程度担当する。出産準備教育を補助者として担当し、妊娠期集団指導の実践能力を育成する。【超音波画像診断研修の受講を管理者の努力義務とする】

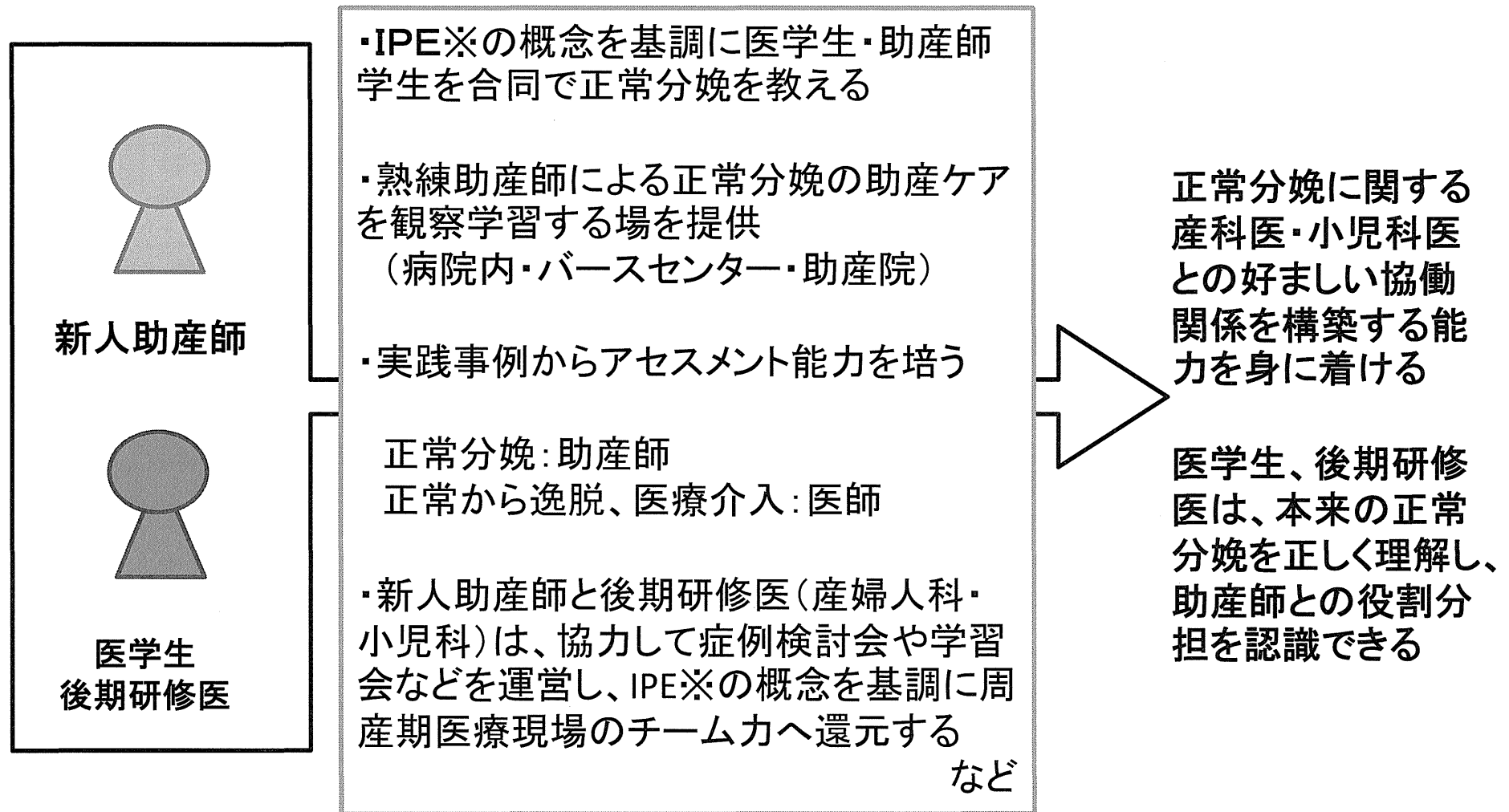
4年目

ローリスク群への妊娠期から産褥期までの継続ケア実践能力を培う。助産師外来を熟練助産師と担当し、分娩期ケア、産褥期のケアを実践する。【院内助産ガイドライン修得・運用評価・ガイドライン改訂業を指導、周産期チーム連携・調整能力育成を管理者の努力義務とする】

5年目

引き続き、ローリスク群の妊娠期から産褥期までの継続ケア、入院妊婦ケア、ハイリスク分娩期ケアを含む助産実践を培う。地域の連携を俯瞰できる能力を培う。行政的に包括される単位の連携病院、有床診療所、助産所と交流・出向して研修、希望があれば高次総合周産期医療センター研修を実施する。【5年目終わりに、※少なくとも約300例の分娩介助を実践させることと会陰裂傷縫合術の研修受講をさせることを管理者の努力義務とする・施設で自立した助産ケア実践能力の可否を評価し認定する】

提言2:産婦人科医師や小児科医師の助産観変容に寄与し 協働を進める



※Inter Professional Education の略

厚生労働科学研究費補助研究 鈴木享子2013.

提言3:院内組織に助産部門を創設し混合病棟から独立する

Step1

【組織の改革】

医局部門、看護部と同格の助産部門(バースセンター・出産母子棟etc.)を創設し、助産部門の管理者(助産師)が院内会議メンバーとして参加する。

Step2

【ガイドラインの策定】

助産師外来・院内助産所の管理者は、産婦人科医師、小児科医師、医療事務管理者と連携して、連携に必要なガイドラインを策定し、実践させ、定期的に改善を図る。

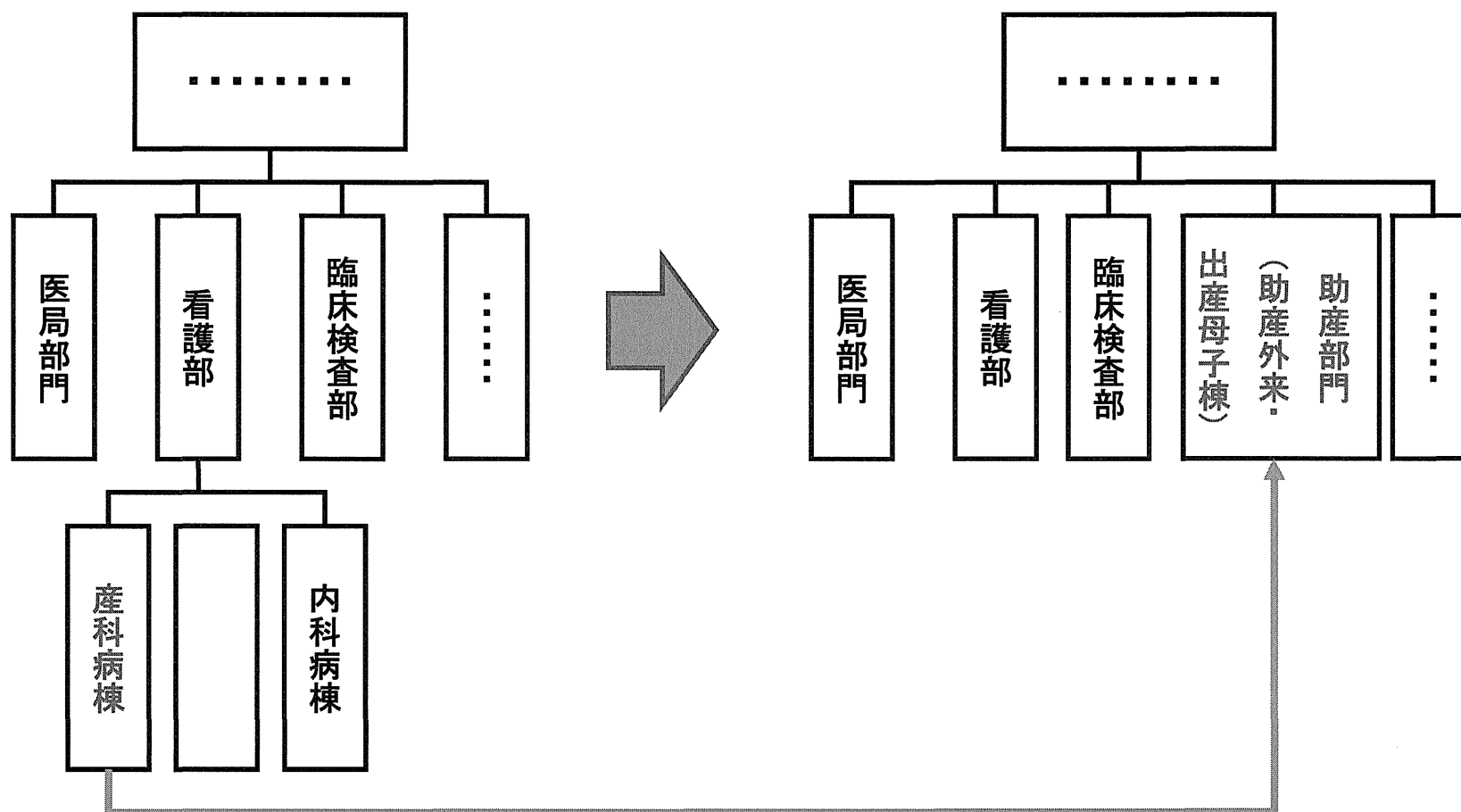
Step3

【適切な評価と改革】

医療診療事務部門は、コスト・パフォーマンスや助産ケア提供によるアウトカム、妊産婦の満足度評価を実施し、評価結果に基づいたシステムの改革を推進し広報する。

提言3:院内組織に助産部門を創設し混合病棟から独立

例)組織の改革イメージ



厚生労働科学研究費補助研究 鈴木享子2013.

提言4:包括的地域における病院・有床診療所・助産所の助産師出向システム・オープンシステムの推進

助産師卒後研修および後期研修医に、同一地域の周産期診療圏内で、病院、有床診療所、助産所間で交流するシステムを創設し推進する

【有床診療所や助産所、バースセンターで学ぶ機会を設ける】

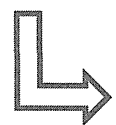
医師も、正常分娩の専門家である熟練助産師による指導で、医療介入の少ないローリスク群の産婦の正常分娩を研修することが必須である

➡ 嘱託医療機関の確保が困難となっている助産所や、助産師が有床診療所に極端に少なく偏在している局面の解消に寄与
正常分娩が多い有床診療所での助産学生の実習に展望が開かれる

➡ 地域内周産期診療圏における日常的な連携交流により災害時のスムーズな周産期医療連携が期待できる

提言5:産後6週間の産後ケアチームによる支援と拠点創設

産後6週間までの助産ケアや産後介護サービスの提供を保証するシステムを創設する



【混成チームの創設】

産後6週間までの子育て支援政策の一環として、助産師、看護師、ヘルパーなどの混成チームを創設する

運営のキーパーソンに母乳育児の専門家である助産師を活用する
入所型(助産院・母子センターなど)と居宅訪問型を活用できるようにする。

※オランダでは、公的に近い周産期医療保険制度で妊娠期から産後6週間までのサービスが組織的に提供されている。日本の「出産手当」に産褥サービス券を追加する。

※分娩後に精神的ケアが必要な対象が増加傾向にあり、育児ストレスの軽減、虐待防止の問題への対策にもつながる。

【助産ケアを提供する場所の設置】

「産後ケアワークステーション(仮称)」を、生活地域に平均的に設置し、夜勤業務などの臨床助産業務ができない世代の助産師が、イニシアティブを発揮できるように組織し、潜在助産師のマンパワーを顕在化して活用する

※思春期、青年期の女性達に対する性の健康への援助の相談窓口としても有用である。

厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業)
分担研究

母親が望む安全で満足な妊娠出産
に関する全国調査

—科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産の
ためのガイドラインの改訂—

平成24年度 分担研究報告書

分担研究者 島田 三恵子

平成25(2013)年3月